

# 環境・上下水

## 市主催のイベントで ごみの取り扱いに課題はないか

常松大介議員(緑ネ) ①イベントで排出されるごみの取り扱いを積極的に指導しているか。  
②イベントで排出されたごみに占める資源物の割合は。  
③リサイクルに関連したイベントで、収集された資源物がごみとして廃棄されそうになったと聞かされたか。それが事実ならば、今後どう対処するのか。

市長 ①ごみの自己処理は定着していることから、積極的に指導は行っていない。  
②把握していないが、小平市民まつりでは、ごみ箱撤去など排出抑制策を講じた結果、本年の可燃ごみが平成15年に比べ880キログラム激減した。  
③事実は把握していない。イベント等のごみの分別や資源化は重要課題なので、今後も周知を徹底したい。

## アスベスト対策に対する 支援策の充実を

佐藤 充議員(共産) ①市民からの相談内容と件数は。  
②民間住宅や事業所も早急に調査や除去工事をするべきと考えが実態はどうか。  
③個人住宅や中小企業などの調査や除去工事に対する支援策が必要ではないか。

市長 ①健康問題2件、調査分析29件等、合計39件である。  
②都道府県は一定規模以上の建築物の飛散性アスベストについて、国から調査を依頼されており、その結果を受けて指導を行う。個人住宅は調査対象では

ないが、アスベストは少ないと考える。  
③都には個人住宅等についての補助制度はないが、11月から労働産業界が窓口になって中小企業者向けのアスベスト対策支援融資を実施している。

## 天神町二丁目のフットサル場 開設に伴う騒音問題について

原 邦彦議員(公明) ①開設に当たり、指導等を行ったか。  
②地域からの騒音に関する相談等について承知しているか。  
③地域住民へ聞き取り調査等の実施や、業者と地域住民が話し合う場を設ける考えは。  
④このような施設を開設するに当たっては、一定のルールを

島村速雄議員(政和) ①国から市に譲与された用水路、及び里道はどのくらいあるか。  
②現状をどう把握しているか。  
③今後の整備活用方針は。  
④つけかえや売り払いの基準はあるか。

# 公園・用水

## 本庁舎と健康福祉事務センター の間の広場を野っ原公園に

鴨打喜久男議員(政和) ①広場周辺のネットフェンスを取り、芝を植え、子どもが安全に遊べる公園にするべきと思うがどうか。  
②幼児、児童向けの公園づくりについてはどう考えるか。



騒音対策としての表示

つくるべきと考えるかどうか。  
市長 ①午後8時以降は鳴り物や大声を禁止するよう指導した。  
②苦情の内容等は把握しており、その都度、現地への立ち入り調査等を行い指導している。  
③これまで事業者による近隣住民への説明会や話し合いが行われていることから、今後も話し合いの推移を見守りつつ、必要な指導を行い、問題解決に努力していきたい。

市長 ①ネットフェンスが設置されていることにより、ミニサッカー等の簡易なスポーツの遊び場や、愛犬の散歩場所として利用されている。一方、本庁舎南側の芝生広場は子ども連れの家族の憩いの場所、保育園児の遊び場等となっている。今後もそれぞれの利点を生かしながら、市民に利用してもらいたい。  
②身近な街区公園には、安全な遊具を設置し、防犯面にも考慮した安心で、安全な公園をつくっていききたい。



本庁舎南側の芝生広場

## 子どもたちがボールで遊べる ように公園広場の改築を

齊藤 進議員(フオ) ①利用度の低い公園などに、バスケットボールのボードやフェンスを

設置することはできないか。  
②ボール遊びができる公園・広場は何か所あるか。  
③市民に愛される公園にするために必要な方策は。

市長 ①公園や市民広場は、だれもが自由に遊び憩える場であることから、事故防止のためにサッカー、野球等のボール遊びは禁止している。また、多くの公園は改築をしてもボール遊びができる広さはない。  
②バスケットボールのボードを設置している公園は4か所あり、その都度、現地への立ち入り調査等を行い指導している。  
③常にご利用者の視点に立った整備や管理を行う必要がある。

## 用水路及び里道の 整備方針について

市長 ①用水路は延長約46キロメートルで、里道は延長約137キロメートルある。  
②用水路は、現在環境用水として管理している。里道は公道あるいは私道の一部として、また宅地内の利道となっている。  
③用水路は用水路活用計画に基づき、地域の特性等に合わせた整備をする。里道は生活道整備計画を検討したい。  
④基準はないが、活用が見込めない用水路はつけかえ等を、道路以外の公共利用の可能性が低い里道は売り払いを検討する。  
※里道とは

佐野都夫議員(政和) ①市内で貴重と思われる動物の存在を、どの程度把握しているか。  
②いわゆる種の保存法に基づく国内希少野生動物種が市内に生息している場合、市は種の保存にどう努めるのか。  
③玉川上水や野火止用水の水流の復活など、水とかかわる生物の保護も重要と思うが、現状をどうとらえ、対応するのか。

市長 ①貴重動物種の調査は行っていないが、野鳥82種、野草418種、樹木221種、昆虫110種が確認されている。  
②全73種のうち1種が生息している。近隣住民等と協力し、

## 玉川上水沿道の大量の落ち葉 などの道路清掃について

木村まゆみ議員(共産) ①大きな植栽のある団地内道路と、市道の清掃状況は。  
②シルバー人材センターへ清掃を委託した場合、いくらかかるか。  
③玉川上水の都の樹木剪定計画は。

市長 ①団地内道路は把握していない。市道は143路線の路面清掃を委託している。  
②仮に鷹の台踏切から立川通りまでを委託した場合1回当たり約5万円程度である。現在行っている清掃車による委託費は1回当たり約3万6千円である。  
③日照等に影響のある樹木は随時あるいは計画的に剪定している。玉川上水の緑地の保全については、都が保存管理計画の策定を検討している。

## 小平市内の貴重動物は 守られるのか

市長 ①用水路は延長約46キロメートルで、里道は延長約137キロメートルある。  
②用水路は、現在環境用水として管理している。里道は公道あるいは私道の一部として、また宅地内の利道となっている。  
③用水路は用水路活用計画に基づき、地域の特性等に合わせた整備をする。里道は生活道整備計画を検討したい。  
④基準はないが、活用が見込めない用水路はつけかえ等を、道路以外の公共利用の可能性が低い里道は売り払いを検討する。  
※里道とは

佐野都夫議員(政和) ①市内で貴重と思われる動物の存在を、どの程度把握しているか。  
②いわゆる種の保存法に基づく国内希少野生動物種が市内に生息している場合、市は種の保存にどう努めるのか。  
③玉川上水や野火止用水の水流の復活など、水とかかわる生物の保護も重要と思うが、現状をどうとらえ、対応するのか。

市長 ①貴重動物種の調査は行っていないが、野鳥82種、野草418種、樹木221種、昆虫110種が確認されている。  
②全73種のうち1種が生息している。近隣住民等と協力し、

# 産業振興

## 旧ブリヂストンマーケットの 跡地について

西 克彦議員(共産) 小川駅東口にあったブリヂストンマーケットが3月に閉鎖されたが、今後跡地や建物はどうなるのか。  
市長 スーパーマーケット部分の小売事業者が撤退したとのことだが、今後の土地利用については所有者から特に聞いていない。

## 旧ブリヂストンマーケット 跡地(小川東町二丁目)

市長 ①団地内道路は把握していない。市道は143路線の路面清掃を委託している。  
②仮に鷹の台踏切から立川通りまでを委託した場合1回当たり約5万円程度である。現在行っている清掃車による委託費は1回当たり約3万6千円である。  
③日照等に影響のある樹木は随時あるいは計画的に剪定している。玉川上水の緑地の保全については、都が保存管理計画の策定を検討している。

## 同塊の世代の定年退職を前に 就労支援等に取り組むべき

常松大介議員(緑ネ) ①高齢者の求職に、どう対処するのか。  
②来年の商法改正により、市内でも同塊の世代で起業する人がふえると考えるが、市はどのような役割を果たせるのか。  
③市はシルバー人材センターに年間約5千万円の補助を行っているが、センターが高齢者の起業支援に取り組む必要性を感じるか。

市長 ①多様な就労意向があるため、ニーズに適した情報を提供する必要がある。ハロ

保護のために区域内立ち入り禁止の呼びかけなどを行っている。  
③玉川上水と野火止用水には、

## (仮称)小平市産業振興 条例の制定について

永田政弘議員(政和) ①他市の産業振興条例の制定状況は。  
②条例制定についてどう考えているか。これまで条例をつくらなかった理由は何か。  
市長 ①現在、都内では13区、多摩地域では1市が制定しており、平成18年3月までに4区4市が予定している。

市長 ①現在、都内では13区、多摩地域では1市が制定しており、平成18年3月までに4区4市が予定している。  
②事業者は自らの努力や創意工夫で事業を行い、それを行政

## 【公共施設】

市内に数多くある国の施設を市民が使いたい場合にとすればよいか

## 市議会1年間の記録 (平成17年1月~12月)

### 【本会議】

4回の定例会と2回の臨時会が行われました。1日当たりの平均会議時間は4時間18分でした。

名称	会期	本会議日数	会議延べ時間	傍聴人数
3月定例会	2/22~3/22	6	31:54	77
4月臨時会	4/26	1	0:41	19
5月臨時会	5/20~5/27	2	2:30	9
6月定例会	6/7~6/29	5	21:50	74
9月定例会	9/5~9/30	6	25:23	77
12月定例会	11/29~12/20	5	25:05	55
合計	—	25日	107時間23分	311人

### 【常任委員会】

委員会名	開催日数	会議延べ時間	傍聴人数
総務委員会	8	19:34	24
生活文教委員会	7	9:18	15
厚生委員会	8	20:37	57
建設委員会	8	21:44	265
合計	31日	71時間13分	361人

### 【請願・陳情】

1年間で8件の請願と23件の陳情を受理しました。なお、平成17年12月定例会最終日に継続審査となった請願は3件です。

	前年からの継続分	受理	採択	不採択	取り下げ	審議未了	文書表付
請願	8	8	10	0	3	0	—
陳情	0	23	0	0	0	0	23
合計	8	31	10	0	3	0	23

### 【特別委員会】

委員会名	開催日数	会議延べ時間	傍聴人数
都市基盤整備調査	2	3:24	0
産業活性化調査	3	5:08	1
小平市第三次長期総合計画基本構想	6	18:32	7
一般会計予算	3	25:59	5
特別会計予算	1	7:09	1
一般会計決算	3	25:34	10
特別会計決算	1	8:21	1
合計	19日	94時間07分	25人